

# 伊丹市文化財ボランティアの会 火曜会通信

第 52 号

発行日：平成 24 年 2 月 1 日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

## 惣構え遺構と村重ゆかりの社寺めぐり

### 伊丹歴史ロマン事業の連携事業

「戦国時代の伊丹・城」をテーマとした平成 23 年度伊丹歴史ロマン事業に連携して、市民ガイド「惣構え遺構と荒木村重ゆかりの社寺めぐり」を 11 月 12 日（土）開催した。

当日は天候に恵まれ、一般参加 37 名と会員 25 名が以下のコースをめぐり歩いた。

【集合】有岡城跡→荒村寺→大蓮・法巖寺→猪名野神社（惣構え跡）→金剛院【解散】  
有岡城跡



有岡城跡 図を用いたガイド

当地には鎌倉時代末期から伊丹氏の館があった。時代が下り天正 2 年（1574 年）、荒木村重は信長の命により伊丹城を攻めて伊丹氏を滅ぼし、摂津守となって「伊丹城」を「有岡城」と改めた。そして伊丹段丘の東端の高台を利用して本丸・侍町・町屋を堀と土塁で防備を固めた「惣構え」の城郭を築いた。

天正 6 年（1578 年）元旦、信長が安土で諸将を集めて茶会を開いた。村重も参加が認

められ、村重の絶頂期であった。しかしこの年の秋、村重が有岡城に籠城し、信長に謀反を企てたとの噂が広がった。今日、多くの文献より謀反は偶発的でなく、村重の決意のもとに行われたとされている。

信長は村重の謀反に怒り、有岡城を攻めるものの惣構えの有岡城は防備が固く、戦は 1 年以上続いた。天正 7 年（1579 年）12 月についに有岡城は落城し、村重は落城前に単身、城を脱出して西国へ落ちのびた。

落城後の有岡城は天正 11 年（1583 年）に廃城になり、焼失を免れた町屋地域は酒づくりの町「伊丹郷町」として大いに繁栄した。

本丸跡は昭和 54 年、国史跡に指定、本丸西側の土塁・堀は 63 年に追加指定された。

### 荒村寺

曹洞宗、古城山荒村寺は、伊丹郷町から寛政年間に古城跡に移り、城山庵と呼ばれた。その後、村重の所縁により荒村庵となり昭和 39 年、荒村寺と号するようになった。昭和 52 年 JR 伊丹駅前再開発事業により現在



荒村寺の門前

地に移築された。

村重の墓は堺の南宗寺にあるとされているが、現在、所在は不明である。法名は「秋英宗薫居士」であるが、荒村寺の村重の位牌は「心英道薫禅定門」と記され、祀られている。

### 金剛院

真言宗御室派、有應山金剛院は猪名野神社の別当寺として「野宮院」と称し、隆盛を誇っていたが、信長の村重攻めの戦火で灰燼に帰した。その後文禄年間(1592～1595)に豊臣秀吉の命により再興された。



金剛院で休憩

有岡城跡での図を用いた説明はわかりやすく良かった。

当日にガイドブック「伊丹を歩こう」を紹介したところ、11冊の購入希望があった。

各役割を担当された会員の皆様、どうもご苦労様でした。(松田 記)

### 秋季研修バス旅行

晩秋の11月15日(火)、平成23年度の秋季研修バス旅行を実施した。今回は県西部、および岡山県の上月城跡、旧閑谷学校坂越浦を訪ねた。

#### 上月城跡(佐用町下上月)

鎌倉末期に赤松氏の一族上月景盛が築いたと伝えられ、中世山城の様態をよく残している。

天正5年(1577年)信長は毛利攻めで上月城を落とし占拠したが、その後の攻防の末

城は毛利方に落ち、尼子の家臣山中鹿介は斬殺された。翌年の天正6年(1578年)、有岡城落城の前年、上月城は廃城になった。

参加者全員が落ち葉で滑る登山道を、杖を頼りに本丸跡まで登った。本丸跡というには狭く、雑木が茂る寂しい平地で、まさに兵ものどもが夢の跡である。

今回とくに佐用町教育委員会に来ていただき、ガイドをお願いした。



上月城跡で教育委員会のガイド

#### 旧閑谷学校(備前市閑谷)

旧閑谷学校は、備前藩主池田光政が庶民教育を目的として、寛文10年(1670年)に設立した郷学である。現存する閑谷学校の姿が完成したのは元禄14年(1701年)、二代目藩主池田綱政の治世である。

最古の学校建築として貴重であり、特別史跡に指定されている。建造物は講堂が国宝に指定され、重要文化財に指定されているものが25件を数える。

地元ボランティアのガイドにより、学校内を見学した。



校門でボランティアのガイドを受ける



講堂は閑谷学校の中心となる建物で、入母屋造り、屋根は備前焼の本瓦葺きの堂々とした建物である。雨対策に万全を期すため手の込んだ工法を用いる等、装飾を省いた簡素な外観ながら贅を尽くしている。

講堂の床は鏡のように磨きあげられ、儒学の学問所にふさわしい雰囲気を保っている。



講堂内部 床はピカピカ

300 年以上の昔に、庶民教育のためにこのように立派な学校が、地方の山間部に設立されたことは驚きである。

幕末当時、日本経済の中心地である大坂の船場に、蘭学者・医者緒方洪庵が開いた蘭学の私塾、適塾がある。史跡、重要文化財である適塾の建物は、当時の一般的な町屋であり、両方の建物を比較すると対照的であり、興味深い。

#### 坂越浦(赤穂市坂越)

坂越浦は内海航路の中継地として重要な位置を占め、江戸時代に廻船業が盛んになるとともに、瀬戸内海有数の廻船業地となった。

現在、坂越港周辺は景観形成地区に指定



坂越浦の街を歩く

され、伝統的建造物群などによる情緒ある街並みが保存されている。訪れたのが晩秋の夕暮れ時で、街はひっそりと佇んでいた。

今回の研修旅行を担当された木曜班の皆様ご苦労さまでした。(瀧内 記)

### 甲州街道四十四次を歩く中尾由紀子

下諏訪宿に、下諏訪追分の石の道標が立っている。そこが甲州街道の終点で、中山道との合流地点である。その追分をスタートとしたのが、平成 22 年の暑い 6 月末であった。

東日本大震災で7か月中断したが、一泊二日を9回、ただひたすらに歩いて、平成 23 年 12 月にやっと日本橋にゴール。約 219km の長い道のりであった。

この間の記憶に残る史跡や文化財などを振り返ってみたいと思います。

#### 第1回 下諏訪追分～金沢宿(43)

##### 《諏訪大社下社秋宮》

祭神は、大国主命の子建御名方神と妃八坂刀売神で、狩猟農耕の神・軍神として、今は交通安全・縁結び・産業の神として崇められている。幣拝殿・紙楽殿とも国の重要文化財となっている。境内には「御柱」がある。

御柱祭では、17m もあるモミの大木を伐採し曳き、曳き立て、社殿の四隅に立て奉納している。テレビでよく目にする祭りである。

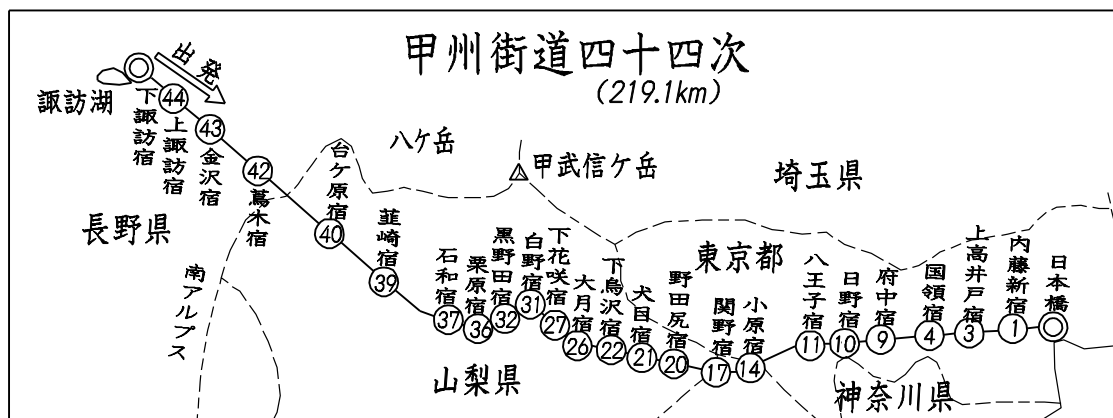
##### 《政屋橋本屋》(44)

江戸時代の面影を残す茶屋である。門は高島城の門を移築したものか、あるいは写しといわれ、医薬門という格式ある形式。旅人の安全を祈願し、門の上には、南無阿弥陀仏の札と一緒に円鏡が掲げられている。

座敷から眼下に眺める諏訪湖の絶景は天下一品である。湖の向うに高島城があった。

#### 第2回 蔦木宿(42)～台ヶ原宿(40)

9月中旬の暑い暑い日のウォーキング。フーフー言いながら歩いた！歩いた！



### 《 台ヶ原の七賢酒造(北原家住宅) 》

寛延2年(1749年)頃に、高遠から移住した後、この地で造酒屋を営み、幕末には諏訪高島藩の御用商人を務めてきた。明治に入ると北原銀行という金融業まで営業した豪商だ。

母屋は、1836年の再建で、全国的に見ても第一級の幕末大形町屋である。

酒銘の「七賢」は、高遠城主から贈られた。諏訪の宮大工2代目・立川和四郎作「竹林の七賢」の欄間から採ったもので、今も中の間に飾られている。

### 第3回 葦崎宿(39)～石和宿(37)

10月になると少し気温が下がり歩きやすくなった。しかし暑い。汗がじわーと出る。

### 《 信玄堤 》

武田信玄が釜無川の氾濫を治めるために、約15年の歳月をかけて1557年に完成した。

巨石を置き、水流をぶつけることで水勢を弱め、下流に石堤を築き、その前面に木組を固定、さらに水流を弱める工夫をした。

### 第4回 栗原宿(36)～黒野田宿(32)

甲斐の国にも紅葉が始まっていた。延々と続くブドウ畑。気候もよく歩きやすいと思ったら、何と甲州街道最大の難所**笹子峠**越えである。この峠は江戸日本橋から信州諏訪まで約55里の中間。笹子峠の下に昭和13年3月、笹子隧道が完成している。笹子峠で道を間違え、しりもちをつきながら、張っ

てあった縄を頼りにずり落ちたという感じだ。スリルは満点！

### 第5回 白野宿(31)～下鳥沢宿(22)

平成23年、気持ちも新たに、寒中厳寒の中、1日目は笹子川に沿って約7kmの歩行。

### 《 星野住宅 》(27)

下花咲き宿に本陣・星野住宅があり、昭和51年に国の重要文化財に指定されている。現当主のユーモアある説明に聞きほれた。

母屋の西方部分(間取り図の左半分)が本陣にあたり、東方の8間が居住部分である。

本陣部分には、大名用と家来用の玄関が別に設けられている。高札や関札(宿札)など、多くの展示物をじっくり見ることができた。

また明治13年(1880年)明治天皇御巡幸の際の御小休所(おこやすみじょ)となった。



### 第6回 犬目宿(21)～小原宿(14)

周りの山々から時々顔を出す富士山は、雪をいただき青空に映えて美しい。スタートから山の中の旧街道に入っていく。上り下りの地道は足にやさしい。途中の座頭転がし

の坂を下ると1日目の終点・野田尻宿(20)である。

2日目に入ると、眼下に川や中央本線が見え隠れするようになった。上野原宿を過ぎると、山梨県とも別れ、神奈川県に入る。関野宿(17)は相模と甲斐の国境である。

#### 《 小原宿の本陣 》(14)

平成8年に神奈川県的重要文化財に指定されている。大火で本陣だけが焼けずに往時のまま残存している。入母屋造りの建物は平屋に見えるが、四層造りになっており、養蚕、機織りも行っていた。大名専用の上段の間をはじめ、14室の部屋も往時のままである。広い屋敷、庭の美しさに圧倒された。

#### 第7回 小仏峠～八王子宿(11)

7か月ぶりに再開。難所小仏峠越えが始まる。小仏峠の名は、小さな仏様が祀られていたことに由来するといわれる。戦国時代、武田信玄の家臣、小山田信茂が武州滝山城を攻めたときにこの山路が使われ、江戸時代に入ってから峠路としての通行が盛んになる。

#### 《 宝珠寺 》

禅寺で本堂脇に都指定天然記念物のカゴノキがある。幹が鹿の子模様になるため、漢字で「鹿子の木」と書く。クスノキ科の常緑高木で、目通り約4m、樹高約23mもある。

八王子市に入ると市の天然記念物銀杏並木が延々と続き、暑さを遮ってくれた。

#### 第8回 日野宿(10)～国領宿(4)

#### 《 国史跡・武蔵府中熊野神社古墳 》(9)



武蔵府中熊野神社古墳

飛鳥時代7世紀の中頃(約1350年前)の上円下方墳で、全国的にも希少な形の古墳である。三段構造で1・2段目が正方形、3段目が円形になっており、石が葺かれている。

首長クラスの墓と考えられている。

#### 第9回(最終回) 上高井戸宿(3)～日本橋 《 内藤新宿 》(1)

甲州街道1番目の宿場は高井戸であった。日本橋から4里2町と遠かったのも、浅草に住む名主、高松喜六が元禄10年、同志4人とともに、太宗寺の南東に宿場を設置するよう幕府に願い出た。翌年許可となり新しい宿場を作った。これが「新宿」の地名の由来である。

1日目は高速道路に沿った騒々しい道であったが、晴れ渡った最終日、ようやく日本橋に到着。完歩賞の受賞となり、喜びとともに、歩ききった健康に感謝！感謝！でした。

#### ボランティアガイド交流会に参加

12月13日池田市コミュニティセンターで兵庫県阪神北地域ツーリズム振興協議会、ならびに豊能地区広域観光推進協議会主催のボランティアガイド交流会が開かれた。

伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町および豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の7市3町のボランティアおよび市町職員、計50名ほどが参加、当会から池田会長が参加した。北摂地域のボランティアガイドの交流を深める初めての会合であり、今後の交流の発展を期待したい。

#### 文化財ボランティア養成講座始まる

平成24年度の文化財ボランティア養成講座(第17回)が1月31日(火)より始まった。

今回の受講生は男女各5名の計10名、2月28日(火)まで毎週、計5回の講座を受講のあと、史跡ガイドの講義、予行演習ガイドを



体験、3/20(火)市民ガイドで実際に市民を案内する。4月には17期生として新人ボランティアガイドが誕生する。

## おめでとうございます

平成23年度秋の叙勲で、本会員の斉藤篤義さん(1期生)が、神戸大学教授として永年、研究教育に携わってこられた功績により、瑞宝中綬章を受勲された。



会員一同心より、おめでとうございます。

## 活動記録(11月～1月)

### 定例会

11/8(火)、12/13(火)、1/20(金)新年会

### 案内ガイド

・11/10(木)Aコース(日本セカンドライフ協会 各地) ・11/12(土)特別コース(roman事業の一環 市内) ・11/17(木)郷町館(総務部危機管理室 市内) 岡田家(ひょうご議友会 神戸) ・11/26(土)岡田家(ベガルタ仙台応援ツアー仙台) ・11/27(日)Fコース(伊丹スワンクラブ 市内) ・12/3(土)Dコース(西野山歩会 各地) ・12/10(土)Aコース(きたろうハイキングクラブ 大東) ・1/11(水)ABコース(ひょうごの街歩き 神戸) ・1/21(土)Bコース(シニア自然大学 市内)

### 秋季バス研修旅行

・11/15(火)上月城跡、旧閑谷学校、坂越浦

### 伊丹roman事業活動支援

・10/29(土)兜づくり ・11/3～13 岡田邸企画

展示の監視・11/26(土)市内3史跡清掃

### 歴史roman体験学習支援(スカイパーク)

・11/5(土)エントツ形鉛筆たてをつくろう  
・12/3(土)絵馬を作ろう ・1/14(土)粘土プレートに楔形文字を使おう

### 有岡城跡の清掃

・12/27(火)・1/24(火)

## 今後の予定(2月～4月)

### 定例会

・2/14(火)、3/13(火)、4/10(火)総会

### 案内ガイド

・2/4(土)Aコース(阪神ろうあ団体連絡会 各地) ・2/14(火)Aコース(大阪シニア自然大学 神戸) ・2/22(水)Aコース(RHハイキングクラブ 枚方) ・2/24(金)岡田家(兵庫シニア 市内) ・3/21(水)Fコース(食生活改善推進協議会ふじの会 大阪)

### 歴史roman体験学習支援(スカイパーク)

・2/4(土)紙粘土で雛人形を作ろう  
・3/3(土)色々体験

### どんぐり座公演

・4月以降「ワシントンの桜物語」を予定

### 有岡城跡の清掃

・2/28(火)、3/27(火)・4/24(火)9:30より

### ボランティアガイド養成講座

・1/31(火)「文化財とは」、「文化財ガイドボランティアについて」 ・2/7(火)「猪名野に造られた古墳について」 ・2/14(火)「古代の猪名野について」 ・2/21(火)「惣構えについて」 ・2/28(火)「伊丹の出土遺物について」  
・3/6(火)史跡めぐり準備 ・3/13(火)史跡めぐり下見 ・3/20(火)市民案内史跡めぐり

## 編集後記

1年で最も寒い頃、今年も文化財ボランティア養成講座が始まりました。3月にガイドの実習を体験して4月には新入会員の誕生です。

寒さ厳しいこの季節、会員の皆様は屋外のガイド活動はしばらくシーズンオフとして、来期シーズンのガイドために英気を養っておかれましますように。(T M)